

キャンドルイベントで 学生と街が一体に

昨年12月13日と14日に流山おおたかの森S・C前広場でキャンドルイベントが行われた。森のマルシェ実行委員会が主催し、今年で8度目の開催となる。キャンドルの明かりがほしやいでいる子供の影を浮かび上がらせる。

このイベントに江戸川大学の仮想広告会社「エド・アド」の学生も協力した。(文:南波亮秀)

午後4時半、おおたかの

森S・C前の広場で無数の

いる。長崎小学校、小山小

キャンドルが点灯された

江戸川大学内の仮想広告会社「エド・アド」の学生10

た。広場に飾られたキャン

ドルには、近隣の小学生の

のは夕方だが、準備は朝9

社「エド・アド」の学生10

今年、雪だるまなどの

思いおもいの絵が描かれて

自分のキャンドルを探す小

人もスタッフとして協力し

絵をひとつひとつ見ていく

今年、雪だるまなどの

学生が嬉しそうに走り回っ

つ一つスタッフの手で並べ

ている。約20人程のスタッ

代表取締役中島良平さんによ

「来年も参加したい」とい

つ一つスタッフの手で並べ

フが12時近くまで根気よく

にしようという意図でハー

トマークになった。狙い通

「来年も参加したい」とい

フが12時近くまで根気よく

にしようという意図でハー

トマークになった。狙い通

「来年も参加したい」とい

「来年も参加したい」とい

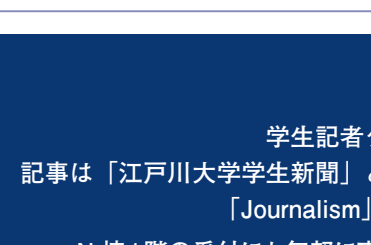
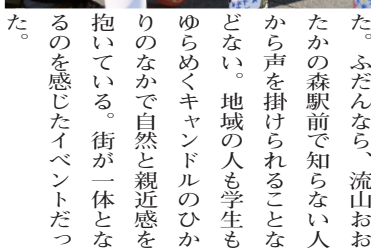
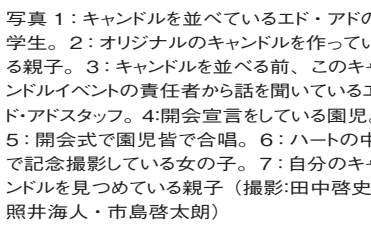


写真1: キャンドルを並べているエド・アドの学生。2: オリジナルのキャンドルを作っている親子。3: キャンドルを並べる前、このキャンドルイベントの責任者から話を聞いているエド・アドスタッフ。4: 開会宣言をしている園児。5: 開会式で園児皆で合唱。6: ハートの中で記念撮影している女の子。7: 自分のキャンドルを見つめている親子 (撮影: 田中啓史・照井海人・市島啓太郎)

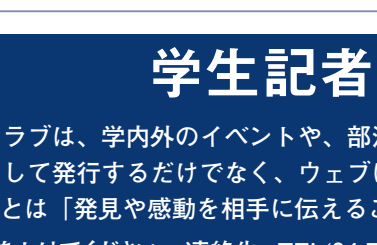
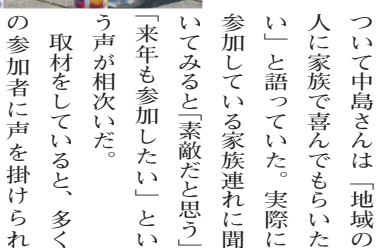


写真1: キャンドルを並べているエド・アドの学生。2: オリジナルのキャンドルを作っている親子。3: キャンドルを並べる前、このキャンドルイベントの責任者から話を聞いているエド・アドスタッフ。4: 開会宣言をしている園児。5: 開会式で園児皆で合唱。6: ハートの中で記念撮影している女の子。7: 自分のキャンドルを見つめている親子 (撮影: 田中啓史・照井海人・市島啓太郎)

学生記者募集!

学生記者クラブは、学内外のイベントや、部活動、サークル活動などを取材します。

記事は「江戸川大学学生新聞」として発行するだけでなく、ウェブにもアップして世界に向けて発信していくプロジェクトです。

「Journalism」とは「発見や感動を相手に伝えること」。あなたもジャーナリストになろう!

N棟1階の受付にお気軽に声をかけてください。連絡先: TEL(04-7152-9908)E-mail(kouhou@edogawa-u.ac.jp) 企画総務課